

検討の背景

2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向け、都内の主要ターミナルにおいて円滑な案内誘導に関する取組が進められています。平成28年3月には、新宿駅における案内サインに関する基本ルールがとりまとめられ、表記や表現の統一の他、サインの体系や配置を含めた総合的な改善が進められています。

東京都を訪れる多くの来訪者にとって、よりわかりやすく、利便性の高いまちを実現するには、主要ターミナルにおける一貫した案内誘導が重要です。そこで、池袋駅においても新宿駅基本ルールをベースとして、案内誘導サインの共通ルールの検討を進めています。

●「池袋駅案内誘導サイン共通化検討」の骨子

次頁より、「池袋駅案内誘導サイン共通化検討」の骨子をまとめています。

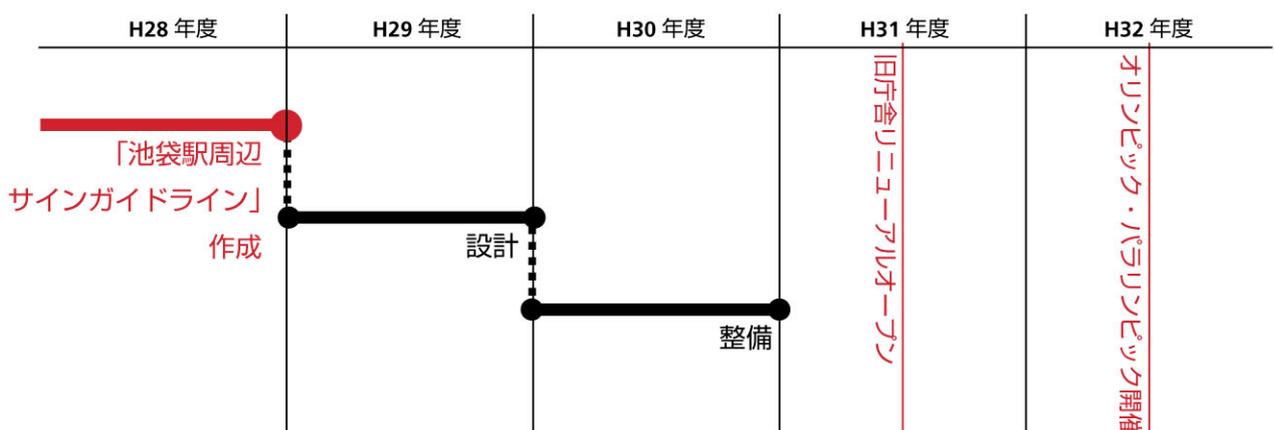
「問A」「問B」についてご意見をお聞かせ下さい。

1. 案内誘導サインの共通化をおこないます → 「問A」
2. 「東口」「西口」と大きく二方向に分けて案内します
3. 「主要出入口」を設定し、名称の共通化をおこないます → 「問B」
4. 共通した地図を設置します
5. バリアフリー地図を設置します

●検討範囲

不特定多数の利用者が通行する場所で、一貫した情報提供が望ましい、「駅前広場」、「地下通路」、「地上出口」を対象とします。

●検討・整備スケジュール

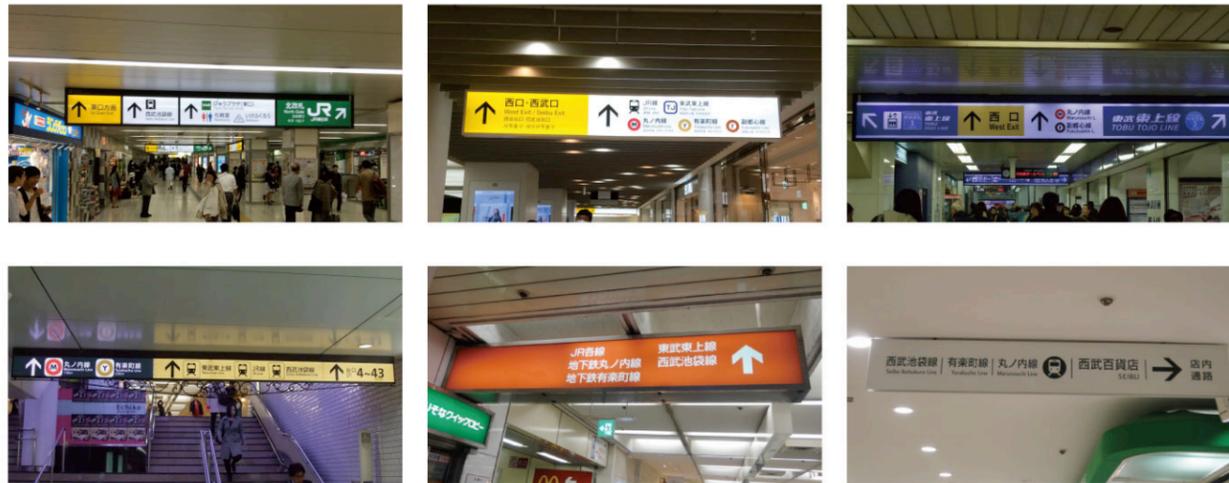


「池袋駅案内誘導サイン共通化検討」の骨子

1. 案内誘導サインの共通化をおこないます

池袋駅は、様々なシステムの案内誘導サインが設置されているため、連続した情報提供がなされず、わかりにくさの一因となっています。わかりやすく、利便性の高いターミナルを目指し、案内誘導サインの共通ルールを作成します。

現況



レイアウト例



問 A :

案内誘導サインの共通化は、わかりやすさの改善に役立つと思いますか？

2. 「東口」「西口」と大きく二方向に分けて案内します

池袋駅の地上部は、線路を中心に西方面、東方面の二方向に分かれています。この構成を認識し、目的地がどちらかを判別しやすくするために、出入口を大きく「西口」「東口」の二方向に分けて案内します。



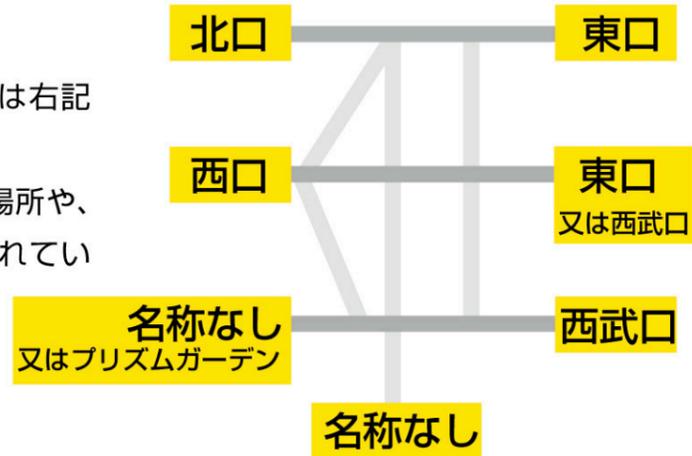
3. 「主要出入口」を設定し、名称の共通化をおこないます

現在、利用率が高く、目印となる出入口が6箇所あります。この出入口を「主要出入口」と位置づけ、名称を付け案内誘導の対象とします。主要出入口の名称は東西の方向が分かるよう「西口」「東口」をベースに、「北」「中央」「南」の三方向を方位で示します。「北」「中央」「南」は地下通路名称である、「北通路」「中央通路」「南通路」と連続させ、統一した情報で案内します。

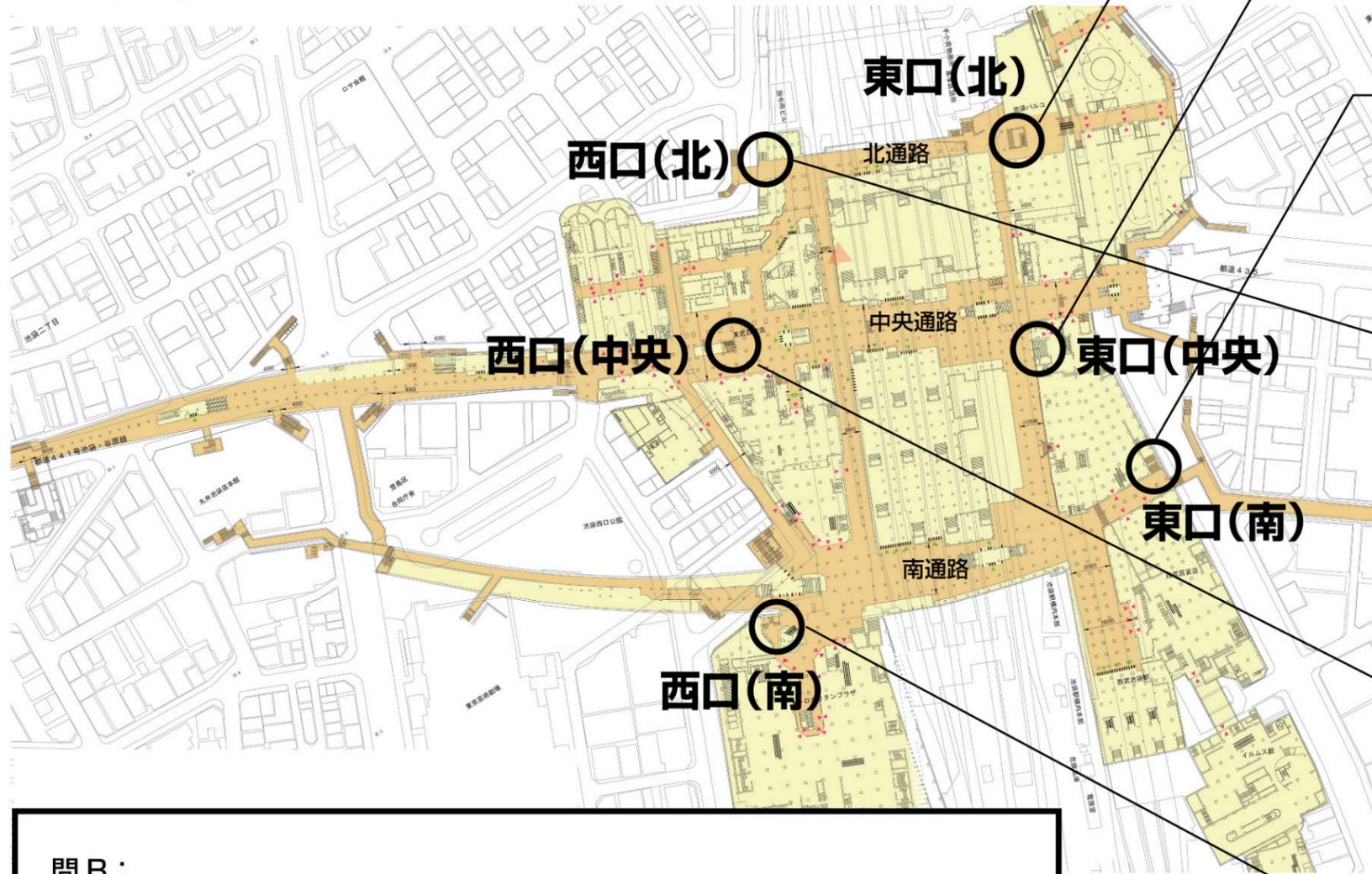
(次頁に説明が続きます。)

●出口名称の現状

現在認識されている出口名称は右記の通りです。
 同じ出口名称で認識されている場所や、
 名称がなくかつての名称で呼ばれている
 場所などさまざまです。



●名称の共通化案



問 B：
 主要出入口の名称の統一は、わかりやすさの改善に役立つと思いますか？

4. 共通した地図を設置します

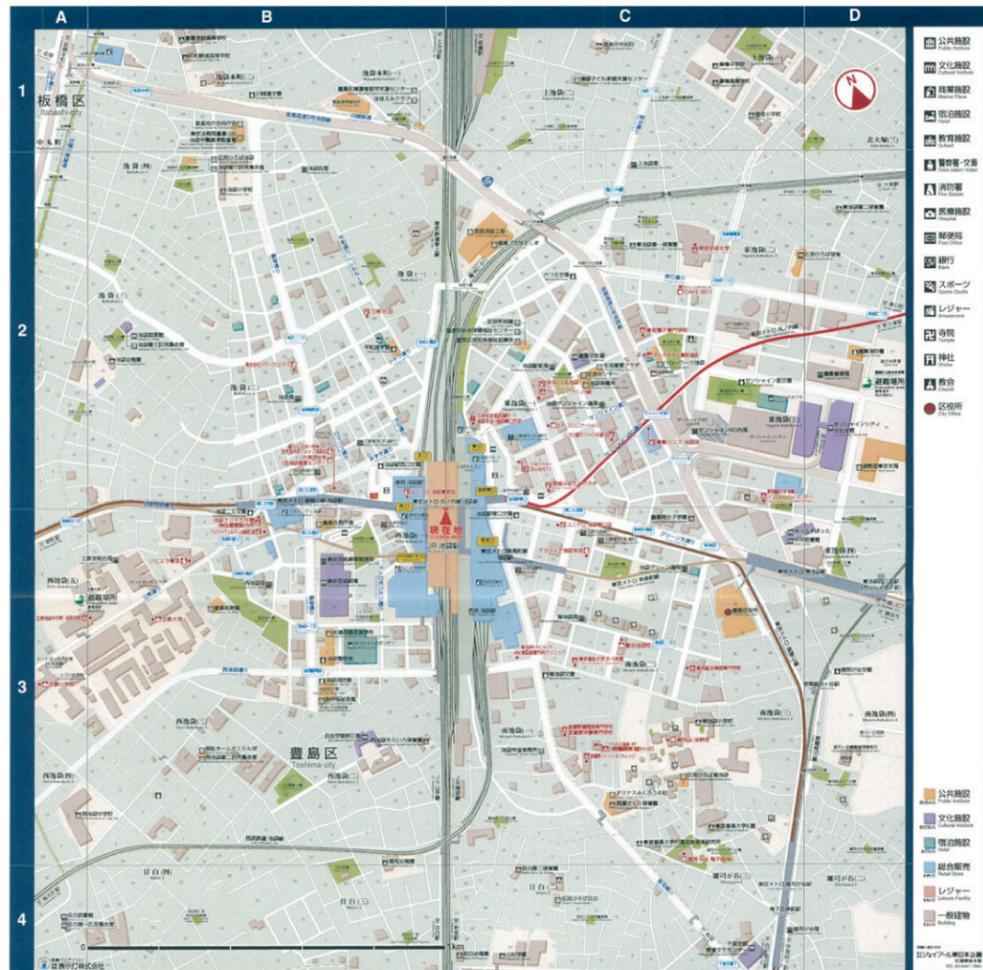
池袋駅に設置されている地図は、設置場所によって、掲載範囲や掲載内容が異なっているため、一貫した情報が得られず、把握しづらい状況です。

通路内では、どこにいても同じ情報が確認できるように地図の統一を図り、わかりやすい地図案内情報を提供します。設置する地図は下記の2種類です。

●周辺案内図

現在地と地上部のランドマークの位置関係を確認するための地図です。

表記する施設は、特に利用者の問い合わせの多い施設とし、掲載範囲はその施設が表示できる範囲とします。



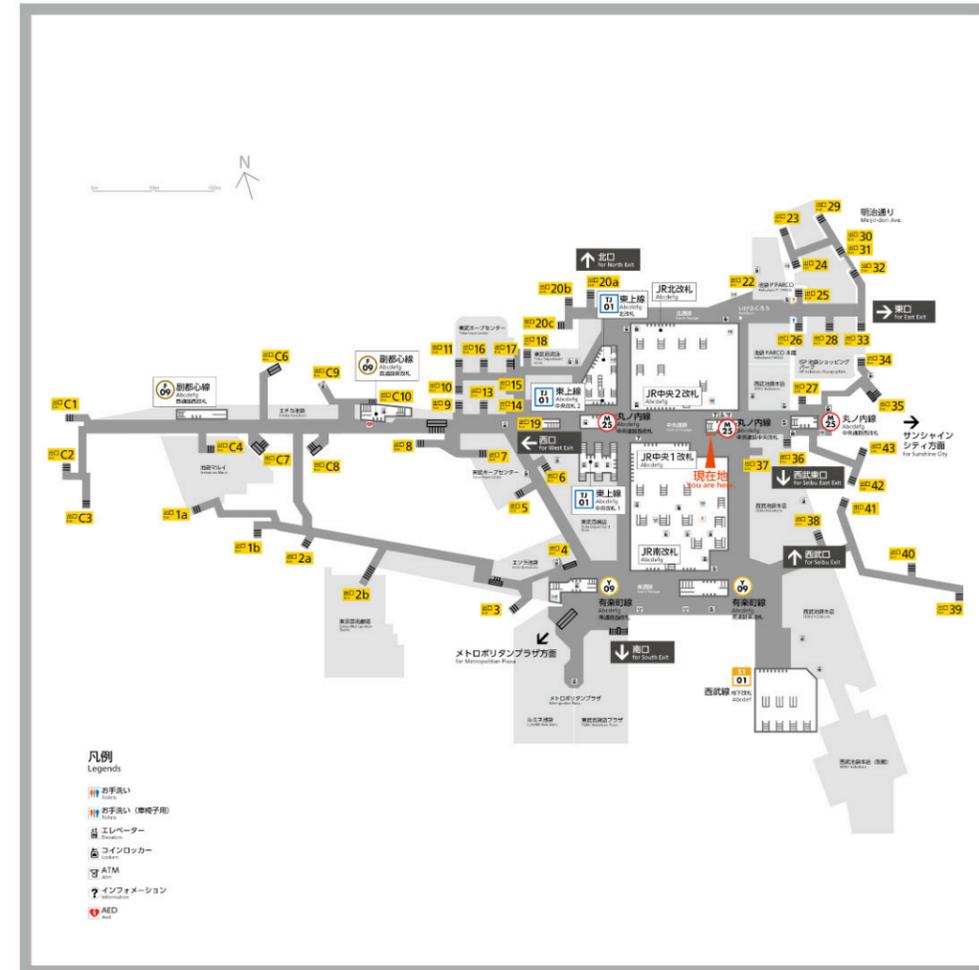
※表示はイメージです

●構内案内図

現在地と地下通路の位置関係を確認するための地図です。

池袋駅全体を簡単に把握できるように、全体を模式化した表現としています。

表示内容は、鉄道改札、出入口、トイレ、エレベーター、案内所等の地下施設程度に絞り、認識しやすい地図にします。



※表示はイメージです

5. バリアフリー地図を設置します

地下通路から各鉄道路線のホーム階へ接続するエレベーターは、限られた改札口内に設置されています。地下通路からホームまで円滑な移動をおこなうために、バリアフリーマップを設置します。

